

株式会社アイペック 環境活動報告書 〈2014年版〉

(対象期間: 2014年1月～2014年12月)



平成27年3月31日

代表取締役社長

馬籠 清英

INDEX

1. はじめに	…1
2. 環境理念・環境方針	…1
3. 実施体制	
3-1 実施体制図	…2
3-2 年間基本活動計画	…2
3-3 エコアクション21役割分担 責任権限表	…3
4. 対外活動結果	
4-1 主な環境活動内容	…4
4-2 顧客要求により行った有害物質調査	…4
5. 社内活動及び結果	
5-1 2015年度環境目標とアクションプラン	…5
5-2 2014年アクションプランの評価・コメント	…5
5-3 2014年度アクションプラン報告	…6
6. 環境活動実績と中期目標	
6-1 環境活動実績(水・CO2・廃棄物排出量) 活動実績評価	…7
6-2 中期目標	…8
7. 環境関連法規への違反有無	…8
8. 2014総括	…9
9. 2015計画・目標	…9

1. はじめに

エコアクション21に関しては、
前年度策定したシステム認定を視野に入れたスケジュールに従い活動しました。

また、事業活動では水道水を使用する工程はありませんが、
エコアクションが求めている排水量削減にも取り組みました。
一方で、生産工程で使用している一部の副資材に含有されている化学物質に
関する法令が改正され、早急な対応を図る必要が生じました。

今後も段階的に減らしていき、2020年迄に温室効果ガス「25%削減」を
目標に取り組んでまいります。

「エコアクション21」のホームページ：<http://ea21.jp/>

2. 環境理念・環境方針

環境理念

株式会社 アイペックは、企業活動と地球環境との調和をめざし、
環境保全に積極的に取り組むことにより社会的責任を果たしていきます。



環境方針

当社の事業活動が環境に与える影響を的確にとらえ、
環境負荷低減を遂行するために仕組み、組織体制を整備し実行する。

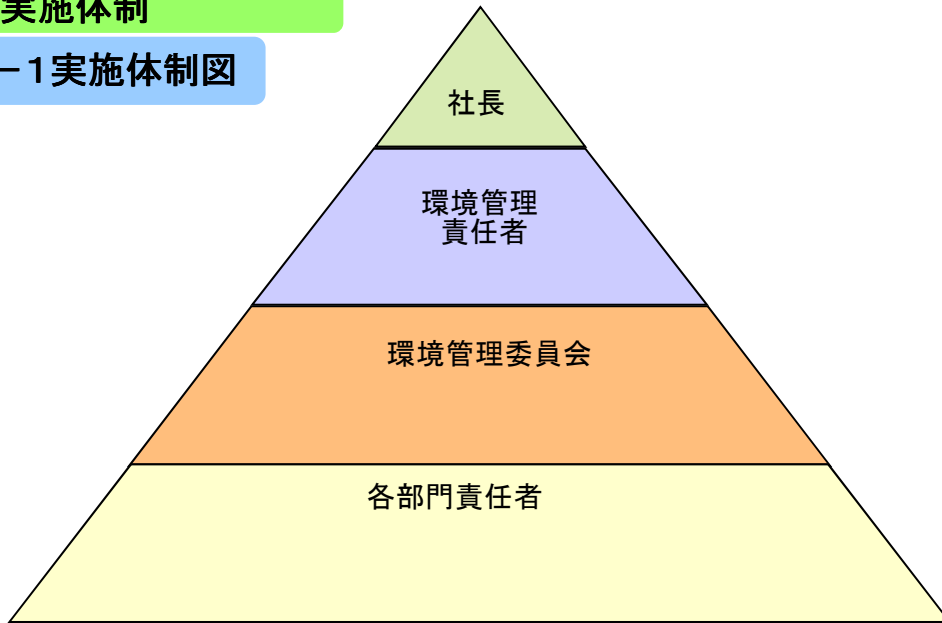
- 1.地球温暖化防止のため、CO2の削減と、廃棄物の減量化、
リサイクルを進める。
- 2.環境負荷低減のため、有害物質の使用を避けると共に、製品の小型化、
低損失化を図り、信頼性、製品寿命の向上に努める。
- 3.環境関連の国内法、条例、協定を遵守する。
- 4.この環境方針を円滑かつ効率よく達成するため、社内規定を整備すると
共に、従業員への教育を継続的に行う。

制定日：2005年9月1日



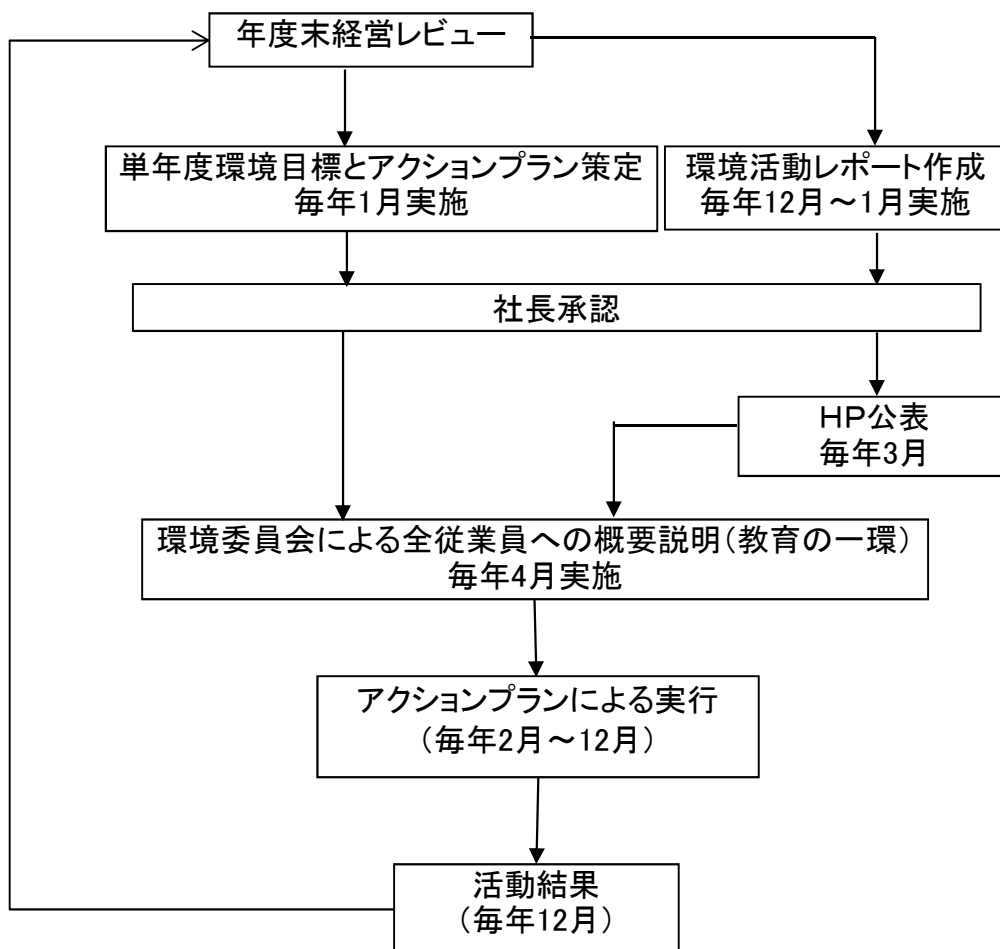
3. 実施体制

3-1 実施体制図



3-2 年間基本活動計画

…改善活動…



3-3 エコアクション21役割分担責任権限表

実行責任名称	主責任	役割責任権限
代表者	EMS全体の責任	<ul style="list-style-type: none"> ①環境方針の策定と誓約 ②環境目標及び環境活動計画(実行計画書)の承認(毎年1月実施) ③必要な経営資源の準備と提供 ④環境経営システム、環境方針及び環境目標の状況評価と見直し、指示を年度末経営レビュー時に実施(毎年12月) ⑤環境活動レポートHP公表の為の公表承認(毎年1月実施) ⑥環境管理責任者の任命
環境管理責任者	環境委員会の推進	<ul style="list-style-type: none"> ①環境委員会委員長 ②環境委員会の開催、推進及び取りまとめ ③環境経営システム及び環境目標の状況把握と社長への報告 ④外部利害関係者との連絡窓口
環境委員会	EMSの構築推進及び改善	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回開催される会議の一部を環境委員会と称し環境活動の中核組織に位置づける ①環境管理システム構築及び運用に関する検討、指示及び問題解決 ②毎年1月環境目標及び環境活動計画(実行計画書)の立案を行い、定期的に実行計画の進捗状況を確認 ③環境負荷調査及び環境取組調査の実施又は実施指示と結果評価 ④環境関連法規等の調査と取りまとめ及び必要な遵守事項の指示を行い毎年12月には関連法規の最新確認実施 ⑤環境教育訓練の立案と実施又は実施指示 ⑥外部利害関係者の要望又は苦情の検討と解決案立案・実施 ⑦緊急事態の想定・対応策の策定及び訓練の実施と検証 ⑧毎年12月から1月環境活動レポートの作成とHP公表
部門責任者	指示事項の実行	<ul style="list-style-type: none"> ①環境委員会指示事項の実施及び又は実施指示 ②実施結果の環境委員会への報告



4. 対外活動結果



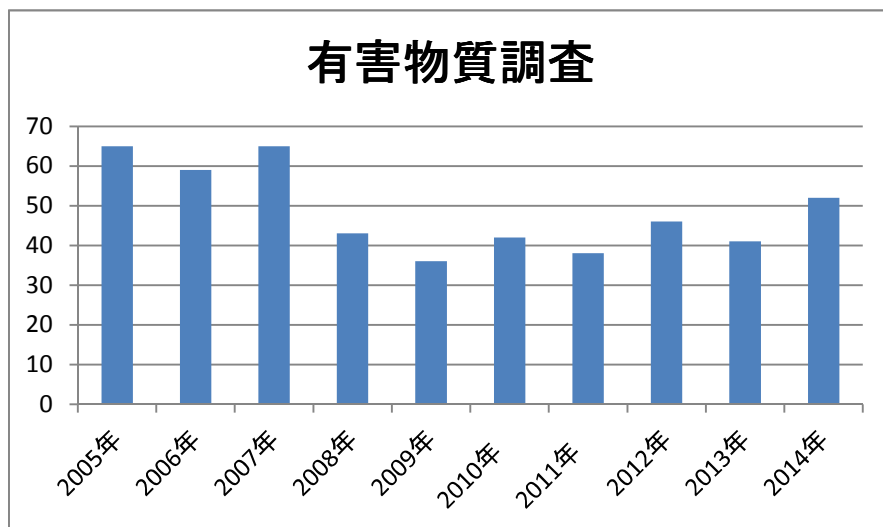
4-1 主な環境活動内容

対応済	鉛フリーはんだへ全面切り替え(2005.1月生産分より) ビス・ナット・ワッシャ類の三価クロメート品へ 全面切り替え(2006.3月生産分より)
継続	弊社製品全製品‘RoHS対応‘への全面对応化 有害物質調査のデータベース化

4-2 顧客要求により行った有害物質調査

・2014年有害物質調査件数(2014.12.26現在)

RoHS調査	8
JAMP AIS	7
JGP(*1)	8
顧客オリジナルフォーマット	13
REACH SVHC(*2)	6
EICC/GeSI帳票(紛争鉱物)	10
計	52件



*1 グリーン調達調査共通化協議会が策定した、「グリーン調達調査共通化ガイドライン(2003年7月22日版)」及び「部品・材料含有化学物質調査マニュアル(2003年7月版)」

*2 欧州(EU)では欧州の新しい化学品規制(REACH規則: Registration, Evaluation, Authorisation and Restriction of Chemicals)が2008年6月1日から運用が開始されました。本規則では、EUで物質(調剤中の物質も該当)を年間1トン以上製造又は 輸入する事業者に対し、登録手続きが義務付けられました



5. 社内活動及び結果

5-1 2015年度環境目標とアクションプラン内容



総括責任者：環境委員会委員長

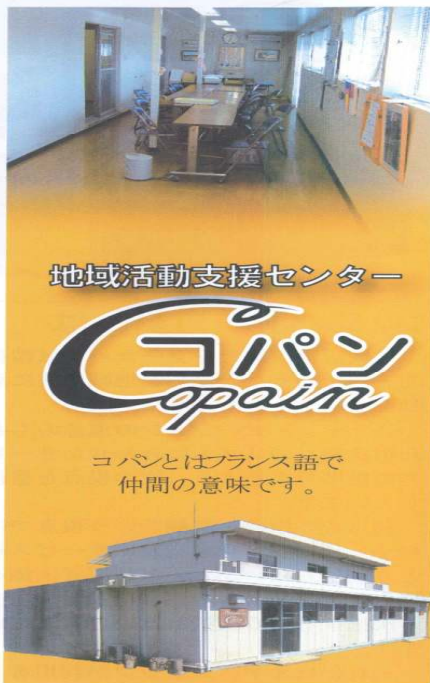
目標		2015年											
		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
エコアクション21 認証登録目標	単年度目標の検討												
	代表者による全体の評価と見直し												
	環境活動レポートの作成・公表												
	環境関連文書・記録類の整理												
廃棄物削減 (銅くず・銅線)	適正リード値のDB入力及び												
	DB情報による巻線作業の徹底												
	中間分析												
	削減案立案												
	実行												
使用・排水量削減	まとめ、レポート												
	実行												
Co2削減	まとめ、レポート												
	実行												

5-2 2014年アクションプランの評価・コメント

		評価
環境社内規定類の体系的整理	ガイドラインを頂点に既存環境社内規定類の関連性を文書で明確にする。	△
エコアクション21関連	前年度策定の複数年計画に従い、要求事項の展開を進めました。 一部時間を要した項目もありましたが、概ね計画に沿った形で進捗しました。	○
廃棄物削減(銅くず、銅線)	コイルの生産効率及び品質(コイル損、銅線くず発生)の低減を含む向上を図るために、コイル巻線機の見直し、調整、最適化を行い、順次展開しました。 また、コイル生産時に使用する指示書の内容も見直し、無駄な銅線くずの発生を低減するようにもしました。	○
使用排水量削減	洗面所での垂れ流しによる無駄な水の使用を減らすために、こまめに止水できるタイプの蛇口に取替え、またトイレの水タンクの容量を減らしました。 節水型タンクを採用することで職場内の排水量の低減化を図りました。	◎

5-3 2014年度アクションプラン報告

地域活動支援センター「コパン」様に廃ダンボールを再利用して頂いています。



地域活動支援センター

コパン
Copain

コパンとはフランス語で
仲間の意味です。

〒350-1323 狭山市鶴ノ木29-17
Tel & Fax. 04-2955-2616



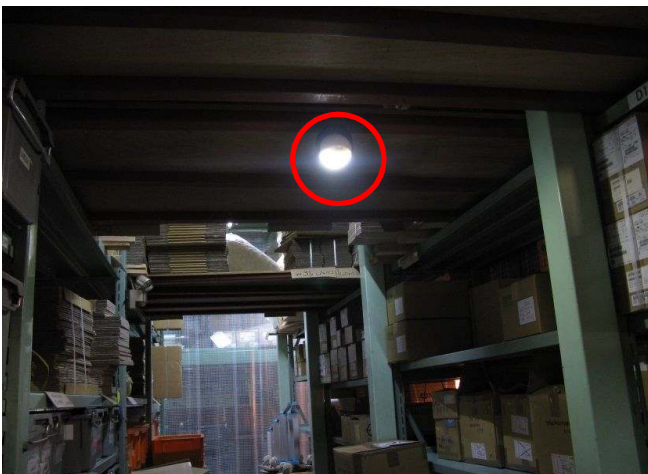
案内図

交通

バス/狭山市駅 ⇄ 入間市駅「入間黒須団地」
停留所下車/時間：徒歩10～15分

2013年度アクションプラン継続中

倉庫内照明で再生可能エネルギーを利用しています。



単三電池で動作するセンサーライト

2010年度アクションプラン継続中

埼玉県主催の「森林の保全整備や身近な緑の保全・創出など
「みどりの再生」活動」へ参加し「都市への植樹」を選択し、
7月に川越水上公園に植樹されました。
植樹して約5年が経過しました。
幹はしっかりと根付いています。



6 環境活動実績と中期目標

6-1 環境活動実績




調査対象場所: 狭山工場

環境活動実績は下表の通りとなりました。
(2012年の実績を基準値としております。)

項目	単位	内容	2012年 基準値	2013年 実績	2014年 実績	2015年 目標
水	m ³	使用量	185	192	161	2014年比 1%減
		排水量	185	192	161	
前年目標 結果			0	4%増	'13比 5%削減 ▲16%	
二酸化酸素排出量	Kwh	使用量	54,004	47,351	45,254	2014年比 3%減
	Kg-CO2	排出量	20,197	17,709	16,925	
前年目標 結果			0	12%減	'13比 5%削減 ▲5%	
産業廃棄物	Kg	完全 リサイクル	11,873	10,754	7,845	2014年比 1%減
前年目標 結果			0	10%減	'13比 5%削減 ▲27%	
一般廃棄物	Kg	一般	2,405	3,945	1,125	2014年比 1%減
		ダンボール	1,491	1,626	480	
計			3,896	5,571	1,605	
前年目標 結果			0	30%増	'13比 10%削減 ▲71%	

* 二酸化炭素排出係数 http://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/h26_coefficient.pdfを参照
2012年の排出係数0.374(Kg-CO2/kw)にて算出

○ 2014年環境活動実績の評価

水		洗面所での垂れ流しによる無駄な水の使用を減らす為、細目に止水できるタイプの蛇口に取り替え、又トイレの水タンクの容量を減らした節水型タンクを採用する事で職場内の排水量の低減化を図りました。
二酸化酸素排出量		昨年取り組んできた事が反映され良い結果を得ることができた。今後も「毎年5%削減(2012年比)」に向け取り組んでいきたい。
産業廃棄物 一般廃棄物		コイルの生産効率及び品質(コイル損、銅線くず発生の低減を含む)向上を図るため、コイル巻線機の改造、新規製作に関する計画を策定し、順次展開しました。又、コイル生産時に使用する指示書の内容も見直し、無銅線くずの発生を低減するようにしました。更に、当方で廃ダンボールになったダンボールを前出の「コパン様」に再利用頂いた結果、大きく廃棄量を削減できました。

6-2 中期目標

目標 … 2020年迄に温室効果ガス「25%削減」(2012年比)

過去実績

項目	単位	2012年	2013年	2014年
水(使用量+排水量)	m ³	370	384	322
二酸化酸素排出量	Kg-CO2	20,197	17,709	16,925
産業廃棄物	Kg	11,873	10,754	7,845
一般廃棄物	Kg	3,896	5,571	1,605

中期目標

項目	単位	2015年	2016年	2017年	2018年
水(使用量+排水量)	m ³	‘14年比 1%減	‘15年比 1%減	‘16年比 1%減	‘17年比 1%減
		319	316	313	310
二酸化酸素排出量	Kg-CO2	‘14年比 3%減	‘15年比 2%減	‘16年比 2%減	‘17年比 2%減
		16,418	16,090	15,768	15,453
産業廃棄物	Kg	‘14年比 1%減	‘15年比 1%減	‘16年比 1%減	‘17年比 1%減
		7,767	7,690	7,613	7,537
一般廃棄物	Kg	‘14年比 1%減	‘15年比 1%減	‘16年比 1%減	‘17年比 1%減
		1,589	1,573	1,558	1,543

7. 環境関連法規への違反有無

環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。

又、創業以来、上記関連法規に違反・指摘、訴訟等はなく、近隣の方々からの苦情はありません。



8. 2014総括

‘13 有害物質・EA21活動結果(記録)

<有害物質関係>

月	活動概要	コメント
1~12月	蛍光X線装置にてはんだ中の鉛含有調査(1回/3カ月)	はんだ槽の残留鉛の定期的なサンプル測定の実施及び異常値を超えた時の対応手順を決定
1~12月	顧客からの有害物質調査依頼回答	件(回答)/52件(依頼・昨年41件)

<EA21活動関係>

月	活動概要	EA21未実施事項の中の実施項目
1月・2月	産業廃棄物(廃棄方法)について	6項 教育・訓練の実施
2月	年度環境活動レポート作成	第5章環境活動ガイドライン
2・3月	環境活動レポートHP公表 2014年度アクションプランの検討・展開	4項 環境目標及び環境活動計画の策定
7月	13年度環境レポートによる社員教育実施	6項 教育・訓練の実施

総括

有害物質規制の一段と厳しい管理が求められる状況になってきている為(REACH SVHC)、

より一層管理・徹底をしていきたいと思う(協力工場を含む)。

又、はんだについては定期的なサンプル確認検査(蛍光X線測定)の実施及び外部検査分析機関との関係強化を図っていきたいと思う。

エコアクションにおいては、水・産業廃棄物・Co2排出量全て昨年の目標をクリアでき、良い結果が得られたと思う。

今後も目標達成できるよう全従業員で活動を継続していきたいと思う。



9. 2015計画・目標

顧客関連	計画
	データ収集の迅速化
	目標
	データ収集・調査回答の迅速化
EA21関連	計画・目標
	・エコアクション21システム構築 今年度も策定されたスケジュールに従い 要求事項の展開・実施を図ります。
	・2020年迄に温室効果ガス「25%削減(2012年比)」 継続的に削減
	・廃棄物 廃棄物分別の徹底 銅線、銅屑の継続削減

